

障害者雇用分科会における 2017 年度目標の中間評価について（案）

2017 年度の目標として障害者雇用分科会において設定した年度目標について、当該分科会が実施した中間的な評価の結果は、概ね以下のとおりである。

※ 中間評価は 2018 年 3 月時点で把握できる直近の各種指標（概ね 2017 年 4 月～12 月頃の数値）に基づいて行った。

（障害者雇用分科会において設定された年度目標の動向）

○ ハローワークにおける障害者の就職件数について

〔2017 年度目標〕	前年度（93,229 件）以上
〔4 月～2018 年 1 月実績〕	83,369 件

障害者の就職件数は、企業における障害者雇用への理解が進んでいること、就職を希望している障害者が増加していること、各種雇用支援策の充実を図っていることにより前年同期（78,967 件）を上回る実績となっており、2017 年度の目標水準を上回ることが期待できる。

引き続き、ハローワークが中心となり福祉、教育、医療等の関係機関と連携し、求職者の障害特性に応じたきめ細かな職業相談・職業紹介を実施していく。

○ 障害者の雇用率達成企業割合について

〔2017 年度目標〕	2018 年障害者雇用状況報告において、46.5%以上
-------------	-----------------------------

障害者の雇用率達成企業割合については、2018 年 6.1 報告の結果が出た時点で改めて評価を行う。

2017 年 6 月 1 日現在の障害者雇用率達成企業の割合は 50.0%であり、前年から 1.2 ポイントの上昇にとどまり、2016 年度の目標を下回ったものの、平成 10 年以来 19 年ぶりに 50%に達した。

雇用障害者数は 14 年連続で過去最高を更新するなど、民間企業における障害者雇用は着実に進展している。一方で、障害者雇用ゼロ企業が約 3 割あることから、こうした企業も含めた未達成企業に対して、就職面接会や集団指導、職場実習の実施に向けた面接会等を積極的に実施し、改善を図ることとしている。

- 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合について

〔2017年度目標〕	70%以上
〔4月～12月実績〕	74.7%（前年同期実績 74.6%）

労働局に対して目標及びその進捗を意識した業務実施を指示するとともに、精神障害者雇用トータルサポーター間の支援ノウハウの共有を図る経験交流会の開催等の取組により、2017年4～12月の実績は74.7%と目標を上回った。平成30年4月の障害者雇用率引き上げに向け、引き続き、求職者に対するカウンセリングや就職支援プログラムの効果の向上を図るとともに、事業主に対して、精神障害者等の雇用に係る課題解決のための相談援助を積極的に行う等総合的な支援を実施する。